

## 競技・審判上の確認

大会競技委員長 嶋 岸 亘  
大会審判委員長 川 島 秀 夫

### 1 競技規則について

- (1) 2025年度 公益財団法人 日本バレーボール協会6人制競技規則により実施する。ただし、ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。本大会はすべて3セットマッチとし、ワンボール・システムとする。また、大会使用球は、男子：モルテン製カラーボール「V5M5000」、女子：ミカサ製カラーボール「V300W」とする。

### 2 チーム構成について

- (1) チームは監督・コーチ・マネージャー各1名・選手18名以内とし、試合毎に14名以内の選手をCOMPOSITION SHEET（構成メンバー表）にエントリーする。なお、監督・コーチがともに外部指導者の場合は引率責任者を（校長が認める当該校の職員、又は校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）を届け出なければならない。
- (2) 構成メンバー14人のうち、外国人留学生は2名までとし、コートへの出場はそのうちの1名に限る。
- (3) 参加申込書に記載された監督・コーチ・マネージャーに変更がある場合、チームスタッフ変更届を1月18日（日）～23日（金）の期間に、佐藤仁旭川協会競技委員長宛てにメールで送信すること。ただし、変更がない場合は届けを出す必要はない。（メールアドレス：[hits@a-jitsu.net](mailto:hits@a-jitsu.net)）その後に変更がある場合は、試合当日の会場で提出すること。COMPOSITION MEMBER（構成メンバー）はチームスタッフ変更届提出後、大会を通じて変更はできない。
- (4) 各試合のエントリーは、第1試合はプロトコール30分前、第2試合以降は、前の試合の第1セット終了までに競技本部に用意された各チームのCOMPOSITION SHEET（構成メンバー表）によりエンターすること。COMPOSITION SHEET（構成メンバー表）は競技本部に用意されているためチームで持参する必要はありません。また、試合が連続する場合は、試合終了後すみやかに提出すること。COMPOSITION MEMBER（構成メンバー）とは、試合毎にエントリーされたメンバーである。

### 3 競技参加者について

- (1) 監督・コーチ・マネージャーは各1名、選手14名以内とする。監督・コーチは当該高等学校の職員又は外部指導者とする。外部指導者の場合は道高体連災害補償制度もしくは傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険）等に必ず加入することを条件とし、当該高等学校長および高体連バレー部専門部長の承認を得なければならない。マネージャーは当該高等学校の教職員もしくは生徒とする。なお、引率責任者・トレーナーはベンチに入ることはできない。
- (2) 監督・コーチ・マネージャーは、それぞれが左胸にマークをつけなければならない。
- (3) 監督はスコアラーズテーブルに最も近い位置でチームベンチに座る。ただし、ラリー中であっても試合を妨げない、または遅延させない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアまでのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。ただし、主審に向かって左側にベンチがある場合、ラインジャッジ（L2）の判定に影響がある場合には立たないこと。
- (4) ベンチスタッフは、ネクタイ及びジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用する。Tシャツ等の襟のないものや、短パン、ハーフパンツ等は許可されない。マネージャーが生徒の場

合は、制服または選手ウェアと同じジャージが望ましい。

#### 4 コートワイピングについて

- (1) コート内の選手が、ラリー終了からサービス許可までの間に行う。ただし、COMPOSITION MEMBER（構成メンバー）以外の登録されたメンバーから最大2名までクイック・モッパーとしてベンチの両側に配置できる。1名の場合は監督席と記録席の間に配置しワイピングを迅速に行う。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。クイック・モッパーは、モッピングが目的なので応援等はできない。
- (2) タイムアウト中、およびセット間にモップを使ってモッピングを行う場合、クイック・モッパーが行うのが望ましい。クイック・モッパーがない場合、競技者あるいはベンチスタッフがモップを使って行っても良い。

#### 5 リベロ・プレーヤーについて

- (1) 正規の競技者とリベロ競技者の人数については、以下のとおりとする。
- ①登録12名以内の場合、リベロ・プレーヤーの人数は0名・1名・2名のいずれでも良い。
- ②登録13名及び14名の場合、リベロ・プレーヤーの人数は2名でなければならない。
- (2) リベロ・プレーヤーは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
- (3) リベロ・プレーヤーは、チームの他の選手とは明らかに対照的な色のユニフォームを着用しなければならない。対照的な色でない場合、競技委員・審判委員の判断でベストの着用を指示することがある。
- (4) 本大会は、アシスタント・スコアラーを補助役員生徒や参加チームが担当することなどから、交代する時はサイドライン上で一度、対になり立ち止まる。また、タイムアウト後は、前ラリーの状態に戻り、その後に交代する。

#### 6 試合と試合前の練習について

- (1) 全日程、開場時間は8：30とする。また、1日目・2日目の第1試合の練習開始は8：50とする。ただし、最終日については準備ができ次第とする。
- (2) 全日程、第1試合の開始時刻は9：30とする。第2試合以降は追い込みとする。
- (3) チームがその日の初戦の場合、アリーナにて、コート・ボール・ネットを使ったウォーミング・アップを第1試合は40分間、第2試合以降は30分間（ただし公式練習を含む）行う。その他の場所においてはランニング・ストレッチ等のみとし、ボールを使うことはできない。最終日については別に定める。
- (4) 初日および2日目については各会場にウォームアップエリアは設けない。最終日（リック＆スー旭川体育館）のみサブ体育館をアップエリアとする。ただし、ボールの使用は不可とする。
- (5) 1日に2試合ある場合、試合が連続しない時は前の試合が終わってからおおむね10分後、連続する場合は20分後にプロトコールを開始する。
- (6) 前の試合の終了後は大会役員によるコートチェック等の確認作業があるため、チームは競技委員や審判委員からの指示があるまでコートに入らないこと。なお、ネットの上げ下ろし作業がある場合も競技委員や審判委員の指示に従うこと。
- (7) 公式練習には、構成メンバー以外の登録メンバーも\*ボールキーパー（ユニフォーム以外のものを着用する）として練習に参加することができる。\*コート外でボールを拾うことのみが許される。
- (8) 公式練習を両チームが別々に行う場合、ネットを使用して練習しているチームの妨げにならないよう、もう一方のチームはエンドライン後方のフリーゾーンまたは自チームベンチ前にてウォームアップを行う。

## 7 その他

(1) コートオフィシャルについて（アシスタント・スコアラー2、ラインジャッジ4、点示2 計8名）

### ①1日目・2日目

第1試合は第3試合のチームから半分ずつ、以降は前試合の敗退チームが行う。

ただし、大会審判委員や補助役員生徒がコートオフィシャルを行う場合がある。

### ②3日目については、審判員および地元補助役員生徒が行う予定です。

(2) 観戦について

#### ①観戦は各会場の観戦エリアを遵守すること。

(1)リック＆スー：2F観客席（鳴り物：可）

(2)忠和記念公園：2F観客席（鳴り物：可）

(3)旭川実業高校：指定されたエリアで観戦すること（鳴り物：授業日のため初日・2日目ともに不可）

#### ②部旗・のぼりについては試合の当該チームを優先とする。部旗を掲げる際はギャラリー下の空間にはみ出ないように注意すること。

(3) ビデオ撮影について

チームベンチエリア（チームベンチ・アップゾーン側）からの撮影は禁止とします。撮影については観客席またはギャラリーで行うこと。

(4) 表彰式について

競技終了後表彰式を行う。3位のチームは準決勝終了時にコート表彰を行う。優勝および準優勝チームについては、男女決勝終了後、表彰式を行う。なお、優勝・準優勝の4チームについては、表彰式終了後に記念撮影を行う。